



題字 京都伏見RC 梳迫柏樹氏
五十にして天命を知る。
五十而知二天命一。

設立 1969年4月24日
承認 1969年6月28日

■会長 久保豊年
■幹事 下前嘉彦

事務局 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
例会 毎週木曜日 12:30 会場 ホテルグランヴィア広島

E-mail hnrcc@world.ocn.ne.jp URL https://www.hnrcc.jp/

【本日の例会 第2445回例会】
2020年11月5日(木) 12:30～

【例会プログラム】

点鐘
来客紹介
誕生月会員お祝い
会長時間
幹事報告
委員会報告
同好会報告
ニコニコ箱の時間
卓話時間
『誕生月会員スピーチ』
『四つのテストについて』
職業奉仕・社会奉仕委員会担当
点鐘

前回例会報告
第2444回例会

2020年10月22日(木) 12:30～

点鐘
来客紹介
会長挨拶 広島北RC会長 久保 豊年
京都伏見RC会長 渡邊忠司様
第32回姉妹クラブ友好提携継続調印式
幹事報告
委員会報告
同好会報告
ニコニコ箱の時間 ニコニコ委員会
卓話時間
『世界ポリオデー2020を迎えて』
財団プログラム委員会
委員長 林谷 浩二 会員
点鐘

【出席報告】 クラブ総務委員会
2020年10月22日(木) 会員総数 101名
出席 82名 欠席 19名 来客6名



例会ではマスク着用を義務としています。
アルコール消毒もお忘れなく！

来客紹介

副会長 塩本 能尚

京都伏見ロータリークラブ
渡邊 忠司 様 (会長)
竹中 徹男 様 (会長エレクト)
西脇 俊和 様 (幹事)
大田 勝 様 (次年度幹事・寄金プログラム委員長)
本田 顕哲 様 (国内姉妹クラブ友好委員長)
原 裕二 様 (社会奉仕委員長)

会長挨拶

広島北RC会長 久保 豊年



皆さん、こんにちは。今日は待ちに待った京都伏見RCの皆様をお迎えしての例会となります。渡邊会長以下、5名の皆様お越しいただき、ありがとうございます。通年であれば大人数でお出で頂のですが、今年、こういう状況下でも6名の方にお越し頂いたことは非常にうれしく思います。姉妹クラブの皆様とお会いすると温かい気持ちになります。やはり来て頂いて直接顔を合わせたほうがよかったなと実感しています。本当にありがとうございました。渡邊会長には私共のほうから「こういう時だからWEBで合同例会を行ってはどうか」と提案させて頂いたところ、ご賛同いただき、両クラブの理事会でも承認されたのですが、日程調整がうまくいわず実現できませんでした。しかし、結果的には実際に来ていただいた方が良かったと思っています。また、出来れば今年度中に合同例会的なことや合同で委員会・理事会などを行えればいいかなと思っています。今日は楽しいひと時を過ごせればと思っています。ありがとうございました。

京都伏見RC会長 渡邊 忠司 様



広島北RCの皆様、こんにちは。私は京都伏見RC第48代目の会長を仰せつかりました渡邊忠司と申します。京都伏見RCを代表して私を含め6名で出席をさせていただき、広島北RCの皆様と1990年から続く姉妹クラブ提携継続調印式を滞りなく開催できる準備をしていただき、本当にありがとうございます。

コロナ禍で今日この場に来ることができるか正直非常に不安でしたが、久保会長・下前幹事をはじめ理事役員の皆様には何度も話を重ねていただき、ご尽力をいただき、無事に調印式を迎えることができましたこと、厚く御礼申し上げます。さて、我々京都伏見RCの状況についてですが、私たちがコロナの影響を受け、3月以降例会を行うことが出来なくなり例会も行事も全て中止となりました。今年度も8月からよう

やく例会を開催出来る事となり、会員数も92名からのスタートとなりました。クラブの方針は「常に新しいロータリー」と決めさせていただき、先輩方からも激励を頂いて、会費や継続事業の見直しなど経費削減をしながら運営をしています。先日、第50代の会長も決まるなどして京都伏見RCも一生懸命前を向いて頑張ろうとしています。

また、奉仕事業についてですが、令和2年7月の豪雨で人吉市のボランティアの方に清涼飲料水2,400本を届けさせて頂きました。このご縁は皆様よくご存じの杭迫栢樹先生が熊本の高屋百貨店で2017年に起こった熊本地震の復興イベントをされたことで繋がったものです。

そして続いて杭迫先生の方から精神的な支援は何か出来ないかということで、本日、久保会長にお願いをさせて頂いて共同で何か事業が出来ないかとお話をさせて頂きました。先ほど、快諾して頂きましたので両クラブ共同で人吉の方に何か事業ができればと思っています。

広島北RCの皆様は、災害発生直後から人吉中央RCを介して支援を行っているということをお聞きし、その英断とスピード感には驚かされました。コロナ禍での例会運営に関しても一歩先を行かれていて勉強させて頂きました。

広島北RCの皆様と京都伏見RCが末永く友好の関係を続けていけるように、また、広島北RCの皆様の栄を祈念いたしまして簡単ではございますが、ご挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

第32回姉妹クラブ友好提携継続調印式

今年で32回目となる姉妹クラブ友好提携継続調印式を無事執り行うことが出来ました。



今年はコロナ禍での調印式となりましたが、新たな交流方法などを模索しながら変わらないお付き合いをお願いします。

幹事報告 幹事 下前 嘉彦

《お知らせ》

*次週10月29日は休会です。

《BOX 配布物》

*11月例会予定表

委員会報告

青少年奉仕委員会 岡部委員長

*例会終了後、委員会を開催します。

同好会報告

ゴルフ同好会



10月17日(土)芸南CCで行われた多打喜会10月例会の優勝は森会員でした。

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【お客様より】

京都伏見RC会長 渡邊忠司様より★

広島北RCとの姉妹クラブ友好提携継続調印式を祝って。広島北RCの皆様、本日はお世話になります。

京都伏見RC幹事 西脇俊和様より◆

祝！ 姉妹クラブ友好提携継続調印式。広島北RCの皆様、本日はお世話になります。

京都伏見RC 本田顕哲様より◆

本日はよろしくお願ひします。広島と京都の友情をコロナに負けず続けていきましょう。

京都伏見RC 竹中徹男様より◆

いつも大変お世話になっております。今後とも宜しくお願ひ致します。

京都伏見RC 大田 勝様より◆

本日はお世話になります。よろしくお願ひします。広島北・京都伏見の友好を祈念して。

京都伏見 RC 原 裕二様より

広島北RCの皆様、本日はお世話になります。

【会員出宝】

久保豊年会員・塩本会員・下前会員・濱本会員・渡部会員

京都伏見RCの皆様、遠いところをよろこぞお越しくださいました。本日は宜しくお願ひ致します。

財団プログラム委員会より(林谷会員・松田会員・庄子会員・久保(雅)会員・竹内会員・秋山会員) 本日の例会卓話は、財団プログラム委員会が担当で『世界ポリオデー2020を迎えて』と題してお話しさせて頂きます。宜しくお願ひ致します！！併せてポリオ基金に関してもご協力の程を。

荒本会員 先日は妻の誕生日に綺麗なお花を贈って下さりありがとうございました。妻も大変喜んでいました。早速、部屋に飾らせて頂きました。ありがとうございました。

森会員★ 10月17日、多打喜会例会にて優勝しました。アンダー分と合わせて出宝致します。

赤木会員 10/17の多打喜会で良いスコアであることが出来ました。先月買ったピン G425LST ドライバーがまだ全然打てないので打てるように頑張ります。

当日計 49,000円 累計 476,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

卓話時間

『世界ポリオデー2020を迎えて』

10月24日は世界ポリオデー

初めてポリオ・ワクチンを開発したチームを率いた米国の医学者 Jonas Salk(ジョナス・ソーク)の誕生を記念し、ポリオのない世界を目指す国際ロータリーによって定められた日。



ポリオとは？

ポリオ(脊髄性小児麻痺・急性灰白髄炎, 感染症法2類感染症)は、ウイルス感染によって発症する病気で、非常に感染性が高く、治療法はなくワクチン投与による予防が行われている。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体麻痺を引き起こし、手足の麻痺、重度の運動・呼吸器障害が残る場合があるほか、死に至ることがある。5歳以下の子どもに感染する確率が高い。日本では1980年を最後に症例はありませんが、海外からポリオウイルスが入る可能性があるため、日本でも乳児へのポリオ予防接種が行われています。

「ポリオプラス」を推進したロータリー財団の成り立ち

○1914 クラブ会長としてのアーチ・クラフの提案

「寝ても覚めてもロータリー」と自称し、クリーブランドRCの4代目会長(1913-14年)を務めたアーチ・クラフは、クラブ会長として最後の演説で『クラブが今後多くのことをできるように、緊急基金を設けよう』と提案した。一言で言えば、大きな活動をするためには基金(お金)が必要ということであるが、理事会で基金設立の提案をしたものの、全く支持を得られなかった。

○1917 アトランタ大会におけるRI会長としてアーチ・クラフの提案

アーチ・クラフはRI会長(1916-1917年)に就任し、アトランタでの大会で、『我々は今年、ロータリーのために基金を作る可能性について、組織に呼びかけたい。諸所の社会奉仕を今まで通りに実行していくには、慈善、教育、そのほかの社会的分野において、世界でよいことをするための(“doing good in the world”)基金を作るのが極めて適切であると思われる。』と演説した。

○アトランタ大会の演説に対する反応

このクラフの呼びかけに対する周囲の反応は、全くの無関心であったと言われている。当時、退任するRI会長に、功労に対する感謝の品をプレゼントする習わしがあり、退任するクラフRI会長への贈答品の購入代金に余剰が出たため、その26.5ドル(現在の貨幣価値で536ドル・日本円換算58,960円)をロータリー本部に送り、クラフ会長が提案した基金に入れるように要請した。こうして最初の種がまかれ、ロータリー基金が誕生した。

○支援の輪が広がらない

6年経ち、基金の残高は700ドル(約140万円)に達したに過ぎず、11年後の1928年にロータリー財団は設立されたものの、元RI会長のうち誰一人として、財団のために力を貸そうという人はなく、とはいえ、断固反対する人もいなかった。

創成期、クラフは、『「財団はクラフのたわいない夢だ』と述べる、心なく不当で不誠実なロータリアンが時々いることは残念』という書簡を残している(1934年書簡)。それくらい無視され、8年間、事実上クラフの個人的プロジェクトといえる状態だった。

○ポール・ハリスの死

1947 ポール・ハリスがイリノイ州シカゴの自宅で逝去した。

70か国以上30万人以上のロータリアンがロータリーの創始者の死を悼み、多くの寄付が寄せられた。ロータリー財団は、ポール・ハリス記念基金を設け、ポールに敬意を表したいロータリアンに対し、財団への寄付をお願いした。その結果、130万ドル以上が寄付された。これにより、1947に最初の財団プログラムが実現された。それは高等研究奨学金と呼ばれるもので、後にロータリー国際親善奨学金などに発展していく。

アーチ・クラフがいなければロータリー財団はなく、ポール・ハリスがいなければ財団は成長しなかった。そして、時が過ぎ、ロータリー財団のポリオ撲滅活動を懐疑的にみていた世界保健機構(WHO)が、ロータリー財団の支援を受け、ポリオ撲滅を推進している。

参加しよう(Join)

10月24日の世界ポリオデーに参加し、Rotaryによるポリオ根絶活動を応援しましょう。

学ぼう(Learn)

10月24日の世界ポリオデーに、ポリオ根絶活動の現状について学びましょう

寄附しよう(Donate)

今年の世界ポリオデーでの皆さまからのポリオ根絶活動へのご寄付は、子どもの命を救い、健康な未来へのチャンスを与えるものとなります。



当日の例会終了後、財団プログラム委員会の委員が例会場の外で、会員に募金を呼びかけ、98,750円が集まりました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。